

第3巻 第1～2号 昭和38年9月
(テフロクロロジー特集号)

多田文男：日本のテフロクロロジーの研究史…………… 1

第1部 Tephrochronology

山田 忍：新しい火山灰による Tephrochronology ……………	3
戸谷 洋：降下火山灰と地形・層位……………	9
中村一明・荒牧重雄・村井 勇：火山の噴火と堆積物の性質……………	13
倉林三郎・土屋竜雄：火山灰の風化——粘土鉱物学的考察—— ……	31
松井 健・黒部 隆・加藤芳朗：火山灰にかんする土壌学的諸問題……………	40
加藤芳朗：火山灰中の植物珪酸体……………	59
藤 則雄：火山灰中の花粉・孢子化石……………	62
芹沢長介：火山灰中の人類遺物……………	67

第2部 日本各地の火山灰

貝塚爽平：日本における第四紀の Tephra の分布……………	72
山田 忍・勝井義雄・近堂祐弘：北海道における第四紀火山碎屑物の分布とその編年……………	80
中川久夫：東北地方第四紀 Tephrochronology ……………	88
成瀬 洋：関東地方の第四紀火山灰……………	94
小林國夫：中部地方の洪積世火山灰層……………	110
郷原保真：九州地方の Tephrochronology ……………	123
あとがき〔小林國夫〕……………	139
学会記事……………	140

第3号 昭和39年1月

茂木昭夫：北海道湧根原野沖海底の沈水地形……………	141
木曾谷第四紀研究グループ：岐阜県坂下町における阿寺断層による段丘面の転移……………	153
鈴木秀夫・野上道男・田淵 洋：化石周氷河現象の観察……………	167
新刊紹介 貝塚爽平・町田貞・太田陽子・阪口豊・杉村新・吉川虎雄：日本地形論（上）……………	178
学会記事……………	179

第4号 昭和39年8月

(古土壌特集号)

多田文男：古土壌研究によせて……………	183
佐々木清一・北川芳男・松野 正・近堂祐弘・佐久間敏雄：北海道の古土壌……………	185
若生達夫：東北日本における地形面と赤色風化殻との関係……………	197
加藤芳朗：腐植にとむ土壌（「黒ボク」土壌）の生成に関する問題点 ……	212
綜 説	
松井 健：古土壌学の動向と課題……………	223
あとがき〔古土壌研究グループ世話人会〕……………	247
学会記事……………	248

第5号 昭和39年11月

原著論文

小野忠彦・河野通弘：本州西端部の海岸段丘……………	249
野田耕一郎：佐川盆地における石灰洞内堆積物——縄文早期遺物の発見—— ……	264
佐藤博之・勝井義雄・垣見俊弘：北海道弟子屈附近の段丘状地形について——沖積世火山古物の地形に 及ぼす影響—— ……………	273
阪口 豊：越後平野の古地理の問題によせて……………	284
吉川虎雄：日本のリアス海岸……………	290